

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	教育学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.4 成果
小項目	6.4.1 教育目標に沿った成果が上がっているか。
要素	学生の学習成果を測定するための評価指標の開発とその適用 学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価）
小項目	6.4.2 学位授与（卒業・修了判定）は適切に行われているか。
要素	学位授与基準、学位授与手続きの適切性 学位審査および修了認定の客観性・厳格性を確保する方策（院）（専門）

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 学生の学習成果を継続的に把握するための方策の検討と情報交換の場を設ける。	→ 「学部のカリキュラムの教育成果を継続的に検討する委員会の有無と検討の進捗状況」	B	B	B	/	/
				☆		
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

☆	目標1	2012年度の完成年度に向けて、現行カリキュラムが学生の学習成果に結びついているかどうかを検証するために、1～2カ月に1度開催される各種科目担当者会、幼稚園教諭・保育士養成課程担当者会、小学校教員養成課程担当者会等で情報交換と課題の検討を行っている。学習成果を学生が卒業後にどのように活かそうとしているかを把握するために、2010年度の最高学年である2年生、2011年度の3年生に対して進路希望調査を実施し、その結果を基に各種科目担当者会で、カリキュラム内容について検討している。2011年度には、学生にわかりやすい言葉で、卒業論文内容の基準、および、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、カリキュラムマップを示した。
	備考	完成年度（2012年度）卒業予定者に対する卒業判定を適切に行うために、その方法について、学部長室会で具体案を検討する考えである。幼稚園教諭・保育士養成課程担当者会では、ワーキングを設け、カリキュラムの内容が学習成果に結びついているかを学生が自己評価することのできるチェックリスト案を作成し、学生、教員の双方がそれを使用できるよう検討をすすめている。